

MEIJIMURA

明治村だより Vol.90 2017 Winter



フランク・ロイド・ライトと日本 2
 冬の催しもの 5
 語り継ぐ建築 5
 A La Meiji-mura 6
 協賛会員 募集案内/MEIJIMURA TOPICS 裏表紙

博物館明治村 協賛会員 募集案内

博物館明治村では、歴史的建造物の修繕や展示など村内整備の充実を図るため広く皆様のご支援を募っています。

- 1. 法人会員の種類と会費** (各1口あたり、消費税込)
 ○一般会員 10万円
 ○ゴールド会員 100万円
- 2. 会費の使途**
 明治村で展示・保存されている建造物の修繕や、村内の整備など公益目的事業費に充てさせていただきます。
- 3. 会員期間**
 入会日より1年間
 (入会月の翌年当期末日まで)
- 4. 会員の特典**
 ○会員証(記名式)の発行
 ○招待券の贈呈
 ○刊行物等の贈呈
 ○芳名の掲示
 ○法人名の銘板付きベンチの設置
 (ゴールド会員のみ)
- 5. 問い合わせ先**
 公益財団法人明治村 協賛担当
 住所:〒484-0000
 愛知県犬山市字内山1番地
 TEL:0568-67-0314
 E-mail: meiji-info@nrr.meitetsu.co.jp

協賛会員 (平成29年10月3日現在) 歌碑略:五十首題

株式会社アイチケン	アサヒ飲料株式会社	アサヒビール株式会社	伊藤忠商事株式会社
株式会社魚津社寺工務店	株式会社NTTファシリティーズ	鹿島建設株式会社	キリンビール株式会社
サッポロビール株式会社	サントリーコーポレートビジネス株式会社	ソフトバンク株式会社	中京テレビ放送株式会社
東京海上日動火災保険株式会社	名古屋トヨペット株式会社	一般社団法人ナゴヤハウジングセンター	西日本電信電話株式会社
パナホーム株式会社	ビジネスコミュニケーション株式会社	株式会社日立製作所	株式会社ファミリーマート
ブリヂストンタイヤジャパン株式会社	株式会社メイエレクト	名鉄環境造園株式会社	名鉄ビルディング管理株式会社
株式会社ローソン			



〈表紙〉
 タイトル 雪月花
 撮影者 村松義喜
 (平成26年度
 明治村写真コンテスト
 審査員特別賞)
 金沢監獄中央看守所・監房
 建築年
 明治40(1907)年

2017年 12月							2018年 1月							2018年 2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	1	2	3					
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28			
31																				

■ は休村日
 ★ は「きらめき 明治村」開催日

平成29年12月11日発行
 「明治村だより」第90号 (平成29年 冬)

発行 博物館明治村
 〒484-0000 愛知県犬山市内山一丁目
 電話 (0568) 67-0314
 http://www.meijimura.com
 製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第91号発行のお知らせ
 発行時期 平成30年3月中旬(予定)
 申込方法 「明治村だより」第91号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料(含発送手数料)140円とともに現金書留にてお申し込み下さい。

遠藤新は、ライトの助手として帝国ホテルの新館工事に携わり、後にライトから最も信頼される日本人の弟子となった建築家です。そして、自身が親交のあった政治家・星島二郎や、ジャーナリストで教育者の羽仁吉一・もと子夫妻らとライトとをつなぎ、住宅や学校の設計依頼をライトにもたらしました。

遠藤は、明治四十四(一九一一年)年に上京し、東京帝国大学の建築学科に入学します。この時キリスト教青年会の寮に



帝国ホテル中央玄関外観

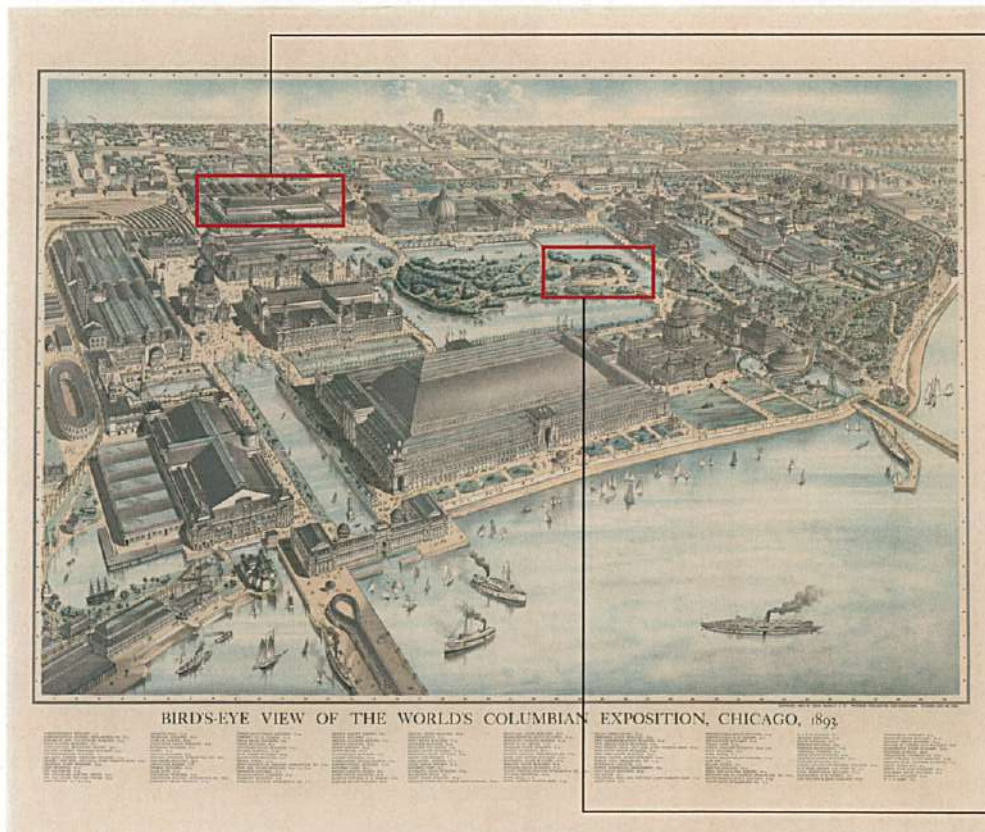
② 出会った日本人 ライトと日本の 施主をつないだ 遠藤新

四十二(一九〇九)年に帝国ホテルの支配人となった林は、帝国ホテル新館の設計者としてライトと契約を結びました。しかし林とライトは、度重なる工期の延長や予算の超過などにより、ホテルの竣工を待つことなく、辞任を余儀なくされました。以降二人が再び会うことはありませんでしたが、晩年まで手紙のやり取りが続けられました。

③ 出会った日本人 ライトに日本の古美術を 指南した 執行弘道

下宿したことで、毎週日曜日には教会へ通うようになり、間もなく洗礼を受けました。大学在学中の大正二(一九一三年)、遠藤は授業で帝国ホテルを訪れた折に、当時支配人であった林愛作と出会い、林を通じてライトのアシスタントとなりました。ライトと林がホテル完成前に現場を去った後は、遠藤をはじめとする日本人のアシスタントが仕事を引き継ぎ、完成に導きました。ホテル竣工後は独立して、住宅、病院、学校や銀行にホテルなど、幅広い建築を手がけました。

執行弘道は、ライトと古美術品の売買を通して出会ったとされ、美術品蒐集の指南役として親交のあった人物です。明治三十八(一九〇五年)年にライト夫妻が初めて日本を訪れた際には、細やかな案内を記した手紙をライトに送りました。執行は、明治二(一八六九)



ライトが最初に日本建築に出会ったとされるシカゴ万博の鳥瞰図 明治26(1893)年



ライトが携った「交通館」



日本館
「鳳凰殿」

年に上京して翌年には東京大学の前身である大学南校に入学します。同郷の大隈重信から目をかけられるようになったことで、明治四(一八七一年)には海外留学生として、アメリカに三年間留学しました。帰国後は外務省や三井物産に勤めた後、半官半民の貿易会

フランク・ロイド・ライトと日本

博物館明治村では、去る九月九日から十二月十日までフランク・ロイド・ライト生誕百五十年を記念して「フランク・ロイド・ライトと日本」を開催しました。この紙面では展覧会紹介した、ライトが出会った日本人について簡単にご紹介します。帝国ホテルの設計者であるライトへの興味を深めていただく一助としていただければ幸いです。

アメリカ建築家フランク・ロイド・ライトは、「近代建築の巨匠」、「世界三大建築家の一人」などと評され、現在もお世界中の人々にその名を知られる建築家のひとりです。ライトは、その生涯で八百件を超える設計業績を遺したと言われています。ライトの作品の大半はアメリカにあります。ライトの作品が海外でも多く設計を手がけ、これは彼と日本の美術、建築、そして何よりも人との出会いの賜物と考えられています。

ライト、日本人と出会う

① 出会った日本人 帝国ホテルと ライトをつないだ 林愛作

帝国ホテルの設計者としてライトを指名したのは、帝国ホテル支配人の林愛作です。当時、仕事に恵まれていなかったライトにとって、林愛作との出会いは、帝国ホテルの設計という大きな仕事を果たす契機となり、日本における仕事や人脈を得る契機ともなりました。林は、十代でサンフランシスコへ渡り、高校、大学へと進学し、明治三十七(一九〇四)年頃には、古美術商・山中商会ニューヨーク支店で働いていました。当時のアメリカでは、日本をはじめとする東洋の古美術品が人気で、ライトも浮世絵など日本の古美術品を熱心に蒐集しており、林とはその売買を通じて出会ったと言われています。その後、明治

社であった起立工商会社のニューヨーク支店長に就任。こうした経験が買われ、明治二十六年（一八九三）年のシカゴ万国博覧会では、E・フエノロサやE・S・モースといった日本美術に詳しいアメリカ人らとともに審査員を務めるなど、日本美術の普及に努めました。

出会った日本人④

日本に
ライトを紹介した武田五一

武田五一は、ライトから作品集や建築模型を贈られるなどの交流があったとされる建築家です。武田は明治二十七年（一八九四）年に帝国大学工科大学造家学科に入学し、卒業後は大学院を経て、同大学で助教授となります。明治三十四（一九〇一）年から一年間イギリスに留学し、その後明治三十六（一九〇四）年に帰国するまでパリをはじめヨーロッパ各地をめぐりました。帰国後は、京都に新しく設置された高等工芸学校（現 京都工芸繊維大学）図案科主任となります。



帝国ホテル内観

ライトが初来日する際に執行から紹介された人物の一人に、同校初代校長・中澤岩太の名があったことから、この時図案科で教鞭を執っていた武田との出会いがあったと推測されます。大正二（一九一三）年、ライトの二度目の来日時に、ドイツのヴァスマート社から刊行された作品集や、ライトが設計した銀座の劇場（計画案のみ）、帝国ホテル等の石膏模型が贈られたとされます。一方武田も、ライトについて高く評価しており、ライトの日本版作品集を刊行するなど、二人は建築家として互いに尊敬し合うような関係であったと考えられます。

ライトの素晴らしい作品の誕生には、このような日本人との出会いがあったことを改めて認識し、ライトに大いなる影響を与えた日本固有の文化に目を向けてみてはいかがでしょうか。

冬の催しもの
12月2月



明治建築をてらナイルミレーション
きらめき 明治村

2017.12.2日(土)~2018.2.18日(日)の土日祝
12.29(金)、2018.1.2(火)3(水)も開催 ※1.1(月・祝)を除く
開催日は20時まで延長開村 ※雨天・積雪・凍結による道路規制により中止の場合があります

点灯時間 日没時間により異なります ※詳しくは明治村公式ホームページでご確認ください
会場 呉服座を中心とした「4丁目」 帝国ホテル中央玄関を中心とした「5丁目」 ※点灯時間以降は「きらめき明治村」会場のみ見学いただけます

16時以降は「グンゼンおトク」
おトク1 ナイター料金で楽しもう！
入村料 大人1,000円 高校生以下500円
通常：大人1,700円 シニア(65歳以上)・大学生1,300円 高校生1,000円、小中学生600円
おトク2 車でご来村すると、キャッシュクーポン進呈！
駐車料金 1台500円(普通車)
※明治村直営駐車場へ普通車で駐車した場合、金額相当のキャッシュクーポンを進呈します
※「きらめき明治村」開催会場の売店・飲食店舗でご利用できます(一部店舗を除く)

2018年は明治改元150周年です。

明治150年イベント
特別企画「明治はるあき」
期間/12月16日(土)~2018年2月18日(日)
会場/千早赤阪小学校講堂
入場料/無料
上映時間/①10:50~ ②13:00~(1時間10分)
糸あやつり人形劇映画「明治はるあき」を、明治150年を記念して特別上映。そのほか、劇中に使用された竹田人形製作の糸あやつり人形や、前田守一による映画をモチーフとした版画作品も展示します。
※会場は、上映時間中も自由にお入りいただけます。

ハッピーニューイヤー

日本各地の門松・しめ縄めぐり
期間/2018年1月1日(月・祝)~28日(日)
※門松は8日(月・祝)まで
会場/東松家住宅、宇治山田郵便局舎 ほか

日本の遊び体験
開催日/2018年1月1日(月・祝)~3日(水)
会場/食道楽のカフェ横芝生広場
時間/10:30~15:00

書初め道場
開催日/2018年1月2日(火)・3日(水)
時間/11:00~15:00
※時間入替制のため10:30より整理券を配布します。
会場/三重県庁舎

餅つき
開催日/2018年1月2日(火)・3日(水)
会場/食道楽のカフェ横芝生広場 時間/13:00~
※お餅の振る舞いは各日先着150名様限定
※12:30より整理券を配布いたします。(お一人様につき1枚限り)

各イベントの詳細・お問い合わせ先 <http://www.meijimura.com> または 0568-67-0314 ※イベントは予告なく変更・中止となる場合があります。

A La Meiji-mura

明治四十年代頃の工事資料によると、「本館ハ煉瓦造「レリーフ」式ニシテ（中略）、建物ノ配列部屋ノ配置ハ執務上ノ便否ト経費ノ如何トニヨリ堅牢ヲ旨トシ外觀容姿ヲ次トス（中略）本館八十九坪七合五夕連続家十坪五合、書庫二百五十八坪八合九夕トス」とあるように、外觀・容姿よりも膨大な貴重資料を保管するための機能が重視されました。そのために、工事費用も多く費やされています。「大蔵省臨時建築部年報第四抄」によると、「書庫及付属建物新築其他」費用は、十二万二千二百四十九円

すべては資料を守るために

●5丁目59番地 内閣文庫



内閣文庫は江戸幕府・明治新政府が集めた膨大な資料を保管する施設です。現在明治村に移築保存されている内閣文庫は、明治四十四（一九一一年）年皇居大手門内に建てられたもので、古代ギリシア・ローマ建築を思わせるレンガ・石造建築です。設計者は国会議事堂や帝国劇場の設計も担当した大熊喜邦です。

票求請覧閱書図			
年月日	職業及姓名	書名	冊
		函	架

図1 大正十二年 図書閲覧請求票（『図書掛雑綴』より）

大正十二年（一九二三年）に「内閣文庫図書三階が大破し、本棚約百六十個、書籍約三万冊（当時、内閣文庫に所蔵されていた書籍総数は約六十五万冊）が破損したとあります。しかしそんな中でも、災害に乗じて発生する暴動や火災から資料を守るために、軍隊を用いて内閣文庫を警護したという記録も残っています。その後、アジア太平洋戦争中の昭和二十（一九四五）年には、空襲により北書庫が炎上し、四万七千冊余が焼失する

「敷地平均並建物基礎地中煉瓦積工事及在来建物移転修繕費其他」費用は九千六百八十一円、その他設備費を合わせて十五万二千九百九十八円（現代の貨幣価値で約十六億円）というものでした。また、「公文類聚」には工事関係者の給料が記されており、監督員の最高額が月百五十円、最低額が月四十円に設定されています。同時代の小学校教師の月収が十五円程度といわれていますから、人件費もかなりの高額ですが、貴重な資料を守るためにそれだけの配慮がなされていたと言えます。

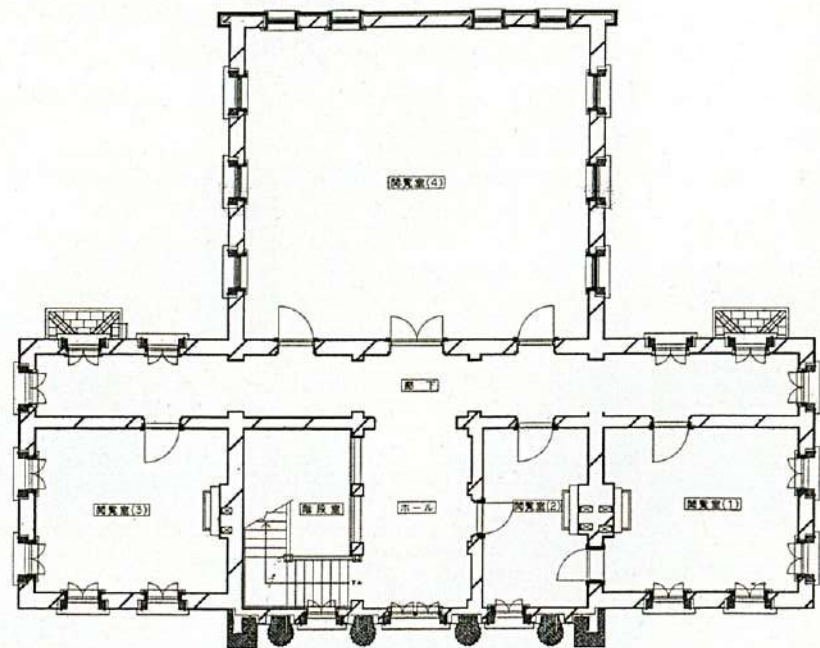


図2 内閣文庫2F

被害を出しますが、その姿を保ち続けました。震災・戦災をのがれ生き延びた内閣文庫は、戦後も貴重な資料を守り続けられますが、昭和五十九（一九八四）年に、ついに解体され、博物館明治村に移築されました。

現代の我々は内閣文庫をみて、その外観の美しさにみとれがちですが、すべては貴重な資料を守るためという想いが込められていることもふまえてご覧下さい。

参考文献
国立公文書館「内閣文庫百年史 増補版」
（汲古書院、一九八六年）

見張所をよく見ると...

●5丁目62番地 金沢監獄中央看守所・監房



五丁目にある金沢監獄中央看守所の中央部には、看守所と同じ八角形の壁に囲まれた見張所が復元されています。一見したところ特に違和感はありませんが、この見張所は、金沢監獄で使用されていたものではなく、北海道の網走監獄で使用されたものです（写真1）。金沢監獄が解体移築された時には見張所は無く、網走監獄で見張所が更新されることになったため、昭和五十二（一九七七）年に明治村が古材の寄贈を受けて復元しました。



写真1 網走監獄の見張所

明治四十五（一九二〇）年の網走監獄は、いずれも放射型と呼ばれる同じ建築様式が採用され、中央の看守所から放射状に五つの監房が設けられていました（図1）注。放射型の監獄は、各監房を繋ぐ中央の看守所に監視役をおけば、少ない人数でいくつもの監房を効率良く監視することができると、明治時代に建てられた多くの監獄で採用されました。

網走監獄で使用されていた見張所は、五方向に伸びる監房をできる限り限らずに見渡せるように、壁面を八角形として、且つ全方向に窓が設けられています。出入口も二箇所あり、何かあった場合にも素早く出入りが可能なつくりとなっていました。さらに、もう一つ細部に目を向けると、機能性だけでなく、遊び心のある意匠も散見されます。見張所の欄間部分には文様がくり抜かれ、内側から紙が張

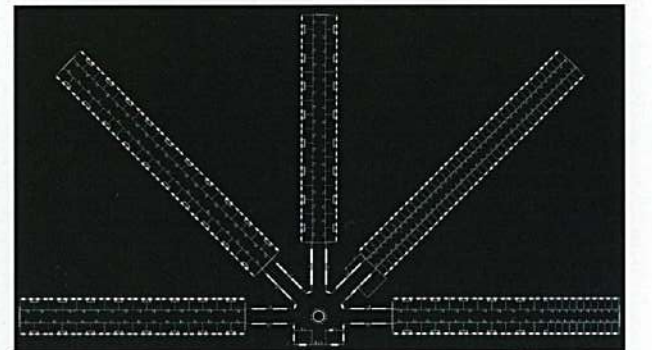


図1 網走監獄中央看守所・監房平面図
『博物館 網走監獄』公益財団法人 網走監獄保存財団 2012より



写真3 網走監獄見張所内の天井

ではもともと金沢監獄にあった見張所は、どのようなものだったのでしょうか。創建時に近い状態と考えられる金沢監獄の古図面の平面図を見ると、中央看守所の中央には八角形の、おそらく台座のようなものの上に、四角形の壁面を持ち、三箇所から出入りが可能な見張所があります（図2）。見張所の細かい意匠までは確認できませんが、少なくとも壁面や出入口の敷数など、網走監獄のものと異なっていたようです。



写真2 網走監獄見張所の欄間

浮かび上がりません。また、室外からは見辛いですが、見張所内の天井を見上げると、中央の電灯が取り付けられている部分の天井が、三角形の木片を使った寄木のように仕上げられています（写真3）。

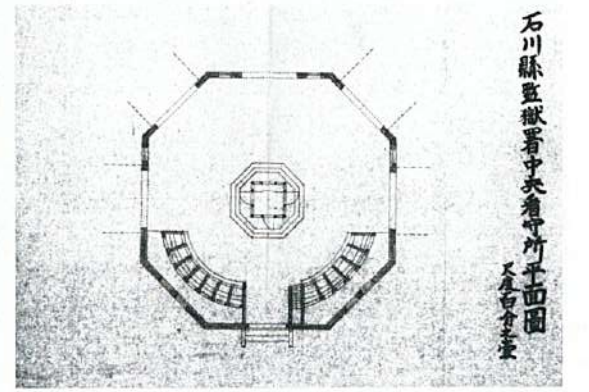


図2 金沢監獄平面図

石川縣監獄中央看守所平面図
（石川縣監獄）

明治時代の監獄は、明治五（一八七二）年に制定された「監獄則監獄則図式」以降、監房の並び方などの平面の計画において、典型的なものが各地に建設されました。しかし、見張所の形状までは定められていなかったようで、監獄によつて様々な形状の見張所が建てられていたようです。そしてこれらの形状に注目してみると、機能性もさることながら、遊び心のある装飾も見られました。監獄の中は薄暗くて少し怖さもありますが、目を凝らしてよく見てみると、他にも遊び心のある可愛らしい発見があるかもしれません。

注釈
放射型の監獄は明治時代に入って導入された建築様式で、明治五（一八七二）年に、監獄の仕組みや建物の形式などを定めた「監獄則監獄則図式」で紹介されました。明治時代の監獄で多く採用されましたが、部屋によつて日当たりや風通しに偏りがあるなどの欠点があったため、大正時代以降は並列型が主流となりました。

参考文献
公益財団法人 網走監獄保存財団「博物館 網走監獄」二〇二二「高等建築学 第十九巻 藤田金一郎「刑務所」」常盤書房 一九三三
築計画七 第四十三編